

平成31年裾野市議会 3月定例会 予算決算委員会

【目次】

2月 18日（水）予算決算委員会	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2月 28日（木）予算決算委員会	・・・・・・・・・・・・・・・・	4
3月 19日（火）予算決算委員会	・・・・・・・・・・・・・・・・	16

11 時 56 分 開会

○委員長（賀茂博美） ただいまから、予算決算委員会を開会いたします。はじめに、「第 1 号議案から第 9 号議案について」を議題といたします。

先の本会議において当委員会に付託となりました、第 1 号議案 平成 31 年度裾野市一般会計予算、第 2 号議案 平成 31 年度裾野市国民健康保険特別会計予算、第 3 号議案 平成 31 年度裾野市後期高齢者医療事業特別会計予算、第 4 号議案 平成 31 年度裾野市介護保険特別会計予算、第 5 号議案 平成 31 年度裾野市土地取得特別会計予算、第 6 号議案 平成 31 年度裾野市十里木高原簡易水道特別会計予算、第 7 号議案 平成 31 年度裾野市墓地事業特別会計予算、第 8 号議案 平成 31 年度裾野市水道事業会計予算、第 9 号議案 平成 31 年度裾野市下水道事業会計予算の 9 件について、お配りしております「予算決算委員会付託一覧表」のとおり、総務分科会、厚生文教分科会、産業建設分科会を設置し、審査いたしたいと思えます。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（賀茂博美） ご異議なしと認めます。よって、本議案 9 件の審査は、「予算決算委員会付託一覧表」のとおり行うことで決定いたしました。各分科会の審査は、総務分科会は、3 月 5 日、6 日、7 日午前 9 時から。厚生文教分科会は、3 月 8 日、11 日、12 日午前 9 時から。産業建設分科会は、2 月 25 日、26 日、3 月 1 日午前 9 時から行っていただきますようお願いいたします。

各分科会での審査に当たっては、質疑の後、討論・採決は行わず、意見等がある場合は、それを述べていただくことに留まりますので、よろしく願いいたします。

また、各分科会の現地視察は、2 月 22 日午後 1 時 30 分から行っていただきますようお願いいたします。

次に、「第 21 号議案から第 27 号議案について」を議題といたします。先の本会議において当委員会に付託となりました、第 21 号議案 平成 30 年度裾野市一般会計補正予算（第 6 回）、第 22 号議案 平成 30 年度裾野市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 回）、第 23 号議案 平成 30 年度裾野市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 2 回）、第 24 号議案 平成 30 年度裾野市介護保険特別会計補正予算（第 3 回）、第 25 号議案 平成 30 年度裾野市墓地事業特別会計補正予算（第 1 回）、第 26 号議案 平成 30 年度裾野市水道事業会計補正予算（第 3 回）、第 27 号議案 平成 30 年度裾野市下水道事業会計補正予算

(第3回)、の7件について、お配りしております「各常任委員会付託一覧表」のとおり、総務分科会、厚生文教分科会、産業建設分科会を設置し、審査いたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(賀茂博美) ご異議なしと認めます。よって、本議案7件の審査は、「各常任委員会付託一覧表」のとおり行うことで決定いたしました。各分科会の審査は、総務分科会は2月20日午前9時から、厚生文教分科会は、2月21日午前9時から、産業建設分科会は、2月19日午前9時から行っていただきますようお願いいたします。

各分科会での審査に当たっては、質疑の後、討論・採決は行わず、賛否に関する意見がある場合は、それを述べていただくことに留まりますので、よろしくようお願いいたします。

以上で、本日の議題はすべて終了いたしました。これをもって、予算決算委員会を閉会いたします。

12時00分 閉会

13 時 25 分 開会

○委員長（賀茂博美） ただいまから、予算決算委員会を開会いたします。本日の会議は、先の本会議において本委員会に付託となりました議案についての審査を行います。なお、付託されました議案は 2 月 18 日開催の当委員会において分科会を設置し、それぞれ審査をいただきました。第 21 号議案から第 27 号議案について を議題といたします。

はじめに、第 21 号議案 平成 30 年度裾野市一般会計補正予算（第 6 回）の内の関係部分、第 25 号議案 平成 30 年度裾野市墓地事業特別会計補正予算（第 1 回）について、総務分科会における審査の報告を求めます。総務分科会委員長。

○総務分科会委員長（中村純也） それでは予算決算委員会総務分科会委員長報告をさせていただきます。過日の本会議において、予算決算委員会に付託となりました議案のうち、総務分科会に割り振られた事項について、審査の経過概要を報告いたします。分科会は去る 2 月 20 日、委員 7 名全員出席のもと開会し、担当部課長等の出席を求めて、慎重な審査を行いました。詳細な審査内容につきましては、会議録を正確にまとめ、保存いたしますので省略させていただき、以下、概要について報告いたします。

はじめに「第 21 号議案 平成 30 年度裾野市一般会計補正予算（第 6 回）」のうちの関係部分について報告いたします。

○総務部関係です。

財政課では、

【質疑】個人から多額な寄附を頂いたようだが、その経緯は。

【答弁】ご逝去された方からの寄附だが、相続人となる身寄りがなく、遺言に基づき市に寄附してくださったものである。

【質疑】ふるさと納税合計額はいつの時点で計算されたものか。また 3 月まで期間が残されているが、その寄附は今年度の使途に充てるのか？

【答弁】平成 30 年 12 月 31 日時点での実績である。ふるさと納税に関しては、12 月までのものを今年度の使途に充て、1 月から 3 月分は次年度予算に含めて計上し、使途を目的に合わせ対応していく。

人事課では、

【質疑】時間外手当が当初予算に対し増額となっているが、時間外勤務縮減対策などの効果はどうか。

【答弁】部署ごと繁忙期は異なっており、前年度対比 20%の削減を目標に取

り組んでいるが、残念ながら昨年度よりは若干減るというレベルで、目標には満たないものと見込んでいる。しかしながら、時差出勤など、さまざまに進めている対策は継続することこそ重要と考えており、今後も進めていきたいと考えている。

【質疑】給食センターにおいて賃金を減額しているが、人員が不足している中、働く方々の負担になっていないか。またどのように対応しているのか。

【答弁】給食センター職員を募集はしているが、雇用に繋がっていない。負担軽減も必要であるため、派遣会社を通じた人員を確保し対応している状態である。

行政課では、

【質疑】委託料 105 万円、ならびに選挙公営費負担金 602 万の減額は、入札金額や立候補者数など、当初見込んだ数との差によるものか。

【答弁】委託費は、ポスター掲示の入札差金によるものが主である。選挙公営費負担金については、見込んだ人数を下回ったこともあるが、立候補者が公営費上限まで利用しなかったという協力による減額もある。

【質疑】ふるさと納税に関連した通信費の補正とは、12 月末までの寄附に対する費用であるのか。

【答弁】寄附に対するお礼状の郵送費用であり、4 月からの寄附に対し予算を組んでいるが増加傾向であることから、3 月までの見込み額を含み補正するものである。

○企画部関係です。

企画政策課では、

【質疑】基幹業務システム改修委託の補正は、12 月議会でも補正しているが、どこが違うのか。

【答弁】12 月議会での補正は、マイナンバー記載事項の充実に関して、住民票に反映させるシステムの改修であった。今回の補正は、マイナポータルからデータ連携するためのソフトに関係するものだが、現状の申請件数が少なく手入力でも十分対応できることから、当初予算計上していた導入をやめて減額するものである。

【質疑】住基ネットリプレース事業を仕様変更等により繰り越すとあるが詳細は。

【答弁】第 4 次住基ネットシステムを今年度全国一斉で更新するものであったが、国の仕様確定し、併せて平成 31 年 6 月に実施する方針が発表されたことにより、繰り越すものである。

戦略広報課では、

【質疑】無線放送施設設置整備工事で、国庫支出金も含め事業費を減額する理由は。

【答弁】消防署に設置してある機器との連動装置が当初設計に含まれていたが、消防署との調整が整わず、また設置時期も未定であるため予算を削ることとした。

【質疑】広報紙編集印刷委託の減額は入札差金によるものか。

【答弁】広報紙に関する委託は単価契約となっており、ページ数の変動により差額が生じる。今回は作成実績による減額である。

○環境市民部関係です。

生活環境課では、

【質疑】平成 26 年度に点検し問題がなかった浸出水処理設備汚泥掻寄機が、急激に腐食が進み更新を要することとなった要因は何か。また更新スケジュールは。

【答弁】昭和 62 年に導入した機械であり、耐用年数を超え耐久性が急速に落ちたものとする。補正予算が承認された後、速やかに既存設備業者と契約するが、本体製造に半年を要するため、現地での工事は 8 月から 9 月末の予定となる。

【質疑】工事費の額の根拠は。またこの予算内で確実に工事できると言うことで良いか。

【答弁】メーカー見積もりに基づく額であり、この予算内で工事は完了すると考えている。

危機管理課では、

【質疑】防災費備品購入費が減額となっているが詳細は。

【答弁】区に貸与する可搬ポンプは、当初 3 台を計画していたが、区が資機材維持交付金を活用し、可搬ポンプの修繕を行った結果、継続使用が見込まれたことから、1 台の購入を見送ることとした。

【質疑】交通安全対策費の工事請負費を 100 万円減額しているが、道路反射鏡に関する区要望に対して、AではなくB判定となった地区に設置するなど、活用することは検討しなかったのか。

【答弁】今回A判定の区は全て設置したが、回答がB判定となった区要望はなく、それ以外は設置が認められない場所への要望であったことから予算を補正するものである。

各課の質疑終了後、賛否に関する意見の有無について委員に確認いたしました。特に意見はありませんでした。

以上が第 21 号議案のうちの関係部分の審査概要報告であります。

次に「第 25 号議案 平成 30 年度 裾野市墓地事業特別会計 補正予算（第 1 回）」について報告いたします。

環境市民部生活環境課の審査です。

【質疑】販売実績の詳細は。また、販売告知をどのように取り組んだか。

【答弁】市内向け 30 区画、市外向け 11 区画を予定していたが、市内が 1 区画、市外が 2 区画残り目標に達しなかった。広報紙、公式WEB サイト、報道提供による情報提供のほか、セレモニーホールなど関係施設にチラシを配布など対応してきた。

【質疑】全体の残数は何区画か。また完売に向けた対応は、検討したか

【答弁】10 区画残っている。販売時期の見直しなど次年度に向けた対策を検討している。

質疑終了後、賛否に関する意見の有無について委員に確認いたしましたが、特に意見はありませんでした。

以上が第 25 号議案の審査概要報告であります。

以上が、総務分科会に割り振られた事項の審査の経過概要であります。

審査にご協力いただきました皆様に感謝を申し上げまして、総務分科会委員長報告といたします。

○委員長（賀茂博美） 総務分科会委員長の報告は終わりました。次に、第 21 号議案 平成 30 年度裾野市一般会計補正予算（第 6 回）の内の関係部分、第 22 号議案 平成 30 年度裾野市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 回）、第 23 号議案 平成 30 年度裾野市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 2 回）、第 24 号議案 平成 30 年度裾野市介護保険特別会計補正予算（第 3 回）について、厚生文教分科会における審査の報告を求めます。厚生文教分科会委員長。

○厚生文教分科会委員長（杉山茂規） 過日の本会議において、予算決算委員会に付託となりました議案のうち、厚生文教分科会に割り振られた事項について、審査の経過概要をご報告いたします。分科会は去る 2 月 21 日、委員 6 名全員出席のもと開会し、担当部課長等の出席を求めて、慎重な審査を行いました。詳細な審査内容につきましては、会議録を正確にまとめ、保存いたしますので省略をさせていただきます、以下、概要についてご報告申し上げます。

「第 21 号議案 平成 30 年度裾野市一般会計補正予算（第 6 回）」のうちの関係部分についてご報告いたします。

はじめに、教育部関係です。鈴木図書館では、

【質疑】図書館費の財源になっている 612 万 4 千円中のふるさと納税寄附において、寄附者は施設整備に使う事を分かっていたのか。

【答弁】担当部局と協議の上、今回の結果になっている。寄附者の確認については把握していない。

【質疑】図書館照明の工事によって、1 階の全てが LED 化されるか。

【答弁】1 階の一般開架の部分はほぼ LED 化されるが、児童コーナーの部分は同じタイプではないので今回は行わない。

教育総務課では、

【質疑】昨年 8 月 12 日に落雷で故障した南小の太陽光発電のパワーコンディショナーは、もっと早く修繕ができなかったのか。

【答弁】財政課との協議で直接安全にかかわるもので無いため次年度に修繕の予定であったが、前倒しで修繕をすることになった。

【質疑】南小の太陽光発電のパワーコンディショナーの故障で、売電額にどのくらいの影響があったか。

【答弁】昨年 9 月から今年 1 月までの電気料の支出額が前年度比 20 万 7,500 円程増えており、月当たり約 4 万 1,500 円の増額となっている。

生涯学習課では、

【質疑】文化センターの改修の国からの補助金は、どのようなものか。

【答弁】特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金に充当するものであり、基金条例のもと施行規則で文化センターと運動公園に充当できるようにしている。

【質疑】文化センターのエレベーター改修工事のスケジュールは。

【答弁】工事は完了済みで、工期が早まったため、成人式前に供用開始している。

次に、健康福祉部関係です。健康推進課では、

【質疑】現在ヘルシーパークは改修工事で閉館しているが、落雷箇所への復旧工事を同時発注できなかった理由は。

【答弁】予備費が不足する恐れがあり、財政課と協議の結果、3 月補正か新年度で対応することとした。

【質疑】妊婦検診、産婦検診で 300 万円の減額だが、人数的にはどうか。

【答弁】当初妊婦検診は 405 人の推定に対し、1 月末現在、310～320 人程度、産婦検診は 420 人の推定に対し、達していない状況。

【質疑】福祉保健会館の中央監視盤復旧工事で、停電日などの設定は。

【答弁】中央監視盤の入れ替えだけなので停電させることなく 3 日間程度で工

事は完了する。

障がい福祉課では、質疑はありませんでした。

子育て支援課では、

【質疑】 児童手当や児童扶養手当の減額の理由は。

【答弁】 児童手当の対象者見込みが 6,900 人に対し 6,750 人程度、児童扶養手当は 450 人に対し 430 人であり、当初の見込みよりも少なかったため。

【質疑】 児童手当や児童扶養手当の対象者数減の理由は。

【答弁】 少子化の流れの中での減少と捉えている。

保育課では、

【質疑】 予算減額であるが、子ども・子育て計画更新調査委託の調査の進捗状況は。

【答弁】 アンケート調査等でニーズを把握するものだが、現在報告書作成のための数値を整理している状況。

【質疑】 子育て支援センターの利用者数の利用状況は。

【答弁】 例年並みと捉えている。

介護保険課では、質疑はありませんでした。

国保年金課では、質疑はありませんでした。

社会福祉課では、

【質疑】 社会福祉事業基金の積み立てを行っているが残高はいくらか。

【答弁】 平成 31 年の 1 月末現在で、約 7,200 万円となっている。

各課の質疑終了後、賛否に関する意見の有無について委員に確認しましたが、意見はありませんでした。

以上が第 21 号議案のうちの関係部分の審査概要報告であります。

「第 22 号議案 平成 30 年度裾野市国民健康保険特別会計補正予算(第 3 回)」についてご報告いたします。

【質疑】 特定健診に關しての減額は、被保険者数の減が主な要因か。

【答弁】 人数の減もあるが、該当者の 60～70%が受診する想定での予算を確保しているため。

【質疑】 出産育児一時金の約 330 万円の減額は何人分か。

【答弁】 1 件 42 万円で 8 人分の減額となる。

各課の質疑終了後、賛否に関する意見の有無について委員に確認しましたが、意見はありませんでした。

以上が第 22 号議案の審査概要報告であります。

「第 23 号議案 平成 30 年度裾野市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第 2 回)」についてご報告いたします。

【質疑】 歳入が 42 万円の減額に対し、歳出は 41.9 万円の減額だが、その差は。

【答弁】 予算は1,000円単位であるため、100円未満の切上げ切捨ての関係で差が生じているため、予備費で端数調整をしている。

質疑終了後、賛否に関する意見の有無について委員に確認しましたが、意見はありませんでした。

以上が第23号議案の審査概要報告であります。

「第24号議案 平成30年度裾野市介護保険特別会計補正予算（第3回）」についてご報告いたします。

【質疑】 保険者機能強化推進交付金の充当先は変更可能か。

【答弁】 今回は自立支援に関わる包括的支援事業に充当しているが、国の説明では1号被保険者が保険料で負担する部分に充当できるとしている。

【質疑】 約1,600万円強が介護保険給付準備基金に積み立てられるが、残高は。

【答弁】 年度末にある一部取り崩しを差し引き、3億5,752万319円の見込み。

質疑終了後、賛否に関する意見の有無について委員に確認しましたが、意見はありませんでした。

以上が第24号議案の審査概要報告であります。

以上が、厚生文教分科会に割り振られた事項の審査の経過概要であります。審査にご協力いただきました皆様に感謝を申し上げまして、厚生文教分科会委員長報告といたします。

- 委員長（賀茂博美） 厚生文教分科会委員長の報告は終わりました。次に、第21号議案 平成30年度裾野市一般会計補正予算（第6回）の内の関係部分、第26号議案 平成30年度裾野市水道事業会計補正予算（第3回）、第27号議案 平成30年度裾野市下水道事業会計補正予算（第3回）について、産業建設分科会における審査の報告を求めます。産業建設分科会委員長。
- 産業建設分科会委員長（井出悟） 過日の本会議において、予算決算委員会に付託となりました議案のうち、産業建設分科会に割り振られた事項について、審査の経過概要を報告いたします。分科会は去る2月19日、委員6名全員出席のもと開会し、担当部課長等の出席を求めて、慎重な審査を行いました。詳細な審査内容につきましては、会議録を正確にまとめ、保存いたしますので省略させていただき、以下、概要について報告いたします。

はじめに「第21号議案 平成30年度裾野市一般会計補正予算（第6回）」のうちの関係部分について報告いたします。

建設部関係です。

建設管理課では、

【質疑】 東名千福橋撤去工事関連委託で、撤去工事において中央分離帯を撤去

する理由は、また工事の際には、全面通行止めになるということか。

【答弁】大型クレーンが中央分離帯をまたいで作業を行う事と、撤去した橋を下ろす際に中央分離帯が支障となる為、中央分離帯を一時的に撤去する。工事中は夜間通行止め、昼間車線規制が入ると考えている。

などの他、神山深良線、平松深良線、技術職員の配置などに関する質疑、答弁がありました。

建設課では、

【質疑】入札の不調による繰越明許費補正があるが、事業の計画的執行に向けて、今後どの様な対応を考えているか。

【答弁】年度の下半期に入札不調が発生しているので、発注の時期を前倒しする様にしていきたい。

などの他、南外周道路舗装補修などに関する質疑、答弁がありました。

まちづくり課では、

【質疑】平松深良線の収用手続きを行う箇所について、地権者の同意が頂けない状態はいつから続いているのか。また収用手続きの情報は地権者に伝えているか。

【答弁】任意交渉は平成 25 年度から行なっている。収用手続きについては地権者にお伝えしている。収用手続き中も任意交渉を継続して行っていく。

などの質疑、答弁がありました。

区画整理課では、

裾野駅西土地区画整理事業の進捗に関する質疑、答弁がありました。

○産業部関係です。

農林振興課では、

【質疑】農業用機械等導入支援事業補助金の申請減の理由は、また農業法人も対象となるか。

【答弁】認定農業者の人数が少ない事によると考える。農業法人が認定農業の資格を取得すれば補助対象となる。

などの他、県営裾野愛鷹線林道整備事業、県単独土地改良事業などに関する質疑、答弁がありました。

産業振興課では、

【質疑】水ヶ塚公園クロスカントリーコース整備工事が、補正にて計上された理由は。

【答弁】市長から県に、準高地トレーニングで活用できるクロスカントリーコースの設置要望を提出し、水ヶ塚公園内に事業化できた。市が管理を

引き受け、木質チップを敷設する為の整備工事である。
などの他、バイシクルピット、オリンピック・パラリンピック機運醸成などに関する質疑、答弁がありました。

演習場対策室では、
演習場防災調節池の浚渫の状況などに関する質疑、答弁がありました。

環境市民部の下水道関係では、特に質疑はありませんでした。

各課の質疑終了後、賛否に関する意見の有無について委員に確認いたしましたが、意見はありませんでした。

次に「第 26 号議案 平成 30 年度裾野市水道事業会計補正予算（第 3 回）」について報告いたします。

【質疑】千福が丘の漏水箇所の調査結果と、現在の有収率は。また今後の改修計画は。

【答弁】32 箇所で漏水している事が判明。漏水量が多いと推察される箇所は配水管修理の当番店にて既に対応済。昨年度の有収率は 51.3%。その他、漏水を確認した箇所は来年度改修する。その後は交通規制などの関係があり、年度ごとの計画を立案している。

などの他、水道の管網図作成委託などに関する質疑、答弁がありました。

質疑終了後、賛否に関する意見の有無について委員に確認いたしましたが、意見はありませんでした。

次に「第 27 号議案 平成 30 年度裾野市下水道事業会計補正予算(第 3 回)」について報告いたします。

【質疑】固定資産除却の内容と、布設替えした管渠の固定資産追加は。

【答弁】県道橋梁工事に伴う除却と布設替えを実施。布設替え部分は年度末に追加する。

などの質疑、答弁がありました。

質疑終了後、賛否に関する意見の有無について委員に確認いたしましたが、意見はありませんでした。

以上が第 21 号議案のうちの関係部分、第 26 号議案、第 27 号議案の審査概要報告であります。

以上が、産業建設分科会に割り振られた事項の審査の経過概要であります。

審査にご協力いただきました皆様に感謝を申し上げまして、産業建設分科会委員長報告といたします。

○委員長（賀茂博美） 産業建設分科会委員長の報告は終わりました。これより、本7議案について分科会委員長の報告に関する質疑、討論、採決を行います。

はじめに、第21号議案 平成30年度裾野市一般会計補正予算（第6回）について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。（「なし」の声あり。）

○委員長（賀茂博美） 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては、討論の詳細については本会議でお願いいたします。討論はありませんか。

（「なし」の声あり。）

○委員長（賀茂博美） 討論を終わります。ただいまから採決いたします。第21号議案 平成30年度裾野市一般会計補正予算（第6回）を、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり。）

○委員長（賀茂博美） ご異議なしと認めます。したがって本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、第22号議案 平成30年度裾野市国民健康保険特別会計補正予算（第3回）について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」の声あり。）

○委員長（賀茂博美） 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては、討論の詳細については本会議でお願いいたします。討論はありませんか。

（「なし」の声あり。）

○委員長（賀茂博美） 討論を終わります。ただいまから採決いたします。第22号議案 平成30年度裾野市国民健康保険特別会計補正予算（第3回）を、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり。）

○委員長（賀茂博美） ご異議なしと認めます。したがって本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、第23号議案 平成30年度裾野市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2回）について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」の声あり。）

○委員長（賀茂博美） 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては、討論の詳細については本会議でお願い

いたします。討論はありませんか。

(「なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) 討論を終わります。ただいまから採決いたします。第23号議案 平成30年度裾野市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2回)を、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) ご異議なしと認めます。したがって本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、第24号議案 平成30年度裾野市介護保険特別会計補正予算(第3回)について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては、討論の詳細については本会議でお願いいたします。討論はありませんか。

(「なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) 討論を終わります。ただいまから採決いたします。第24号議案 平成30年度裾野市介護保険特別会計補正予算(第3回)を、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) ご異議なしと認めます。したがって本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、第25号議案 平成30年度裾野市墓地事業特別会計補正予算(第1回)について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては、討論の詳細については本会議でお願いいたします。討論はありませんか。

(「なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) 討論を終わります。ただいまから採決いたします。第25号議案 平成30年度裾野市墓地事業特別会計補正予算(第1回)を、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) ご異議なしと認めます。したがって本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、第 26 号議案 平成 30 年度裾野市水道事業会計補正予算（第 3 回）について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」の声あり。）

- 委員長（賀茂博美） 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては、討論の詳細については本会議でお願いいたします。討論はありませんか。

（「なし」の声あり。）

- 委員長（賀茂博美） 討論を終わります。ただいまから採決いたします。第 26 号議案 平成 30 年度裾野市水道事業会計補正予算（第 3 回）を、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり。）

- 委員長（賀茂博美） ご異議なしと認めます。したがって本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に第 27 号議案 平成 30 年度裾野市下水道議行会計補正予算（第 3 回）について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」の声あり。）

- 委員長（賀茂博美） 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては、討論の詳細については本会議でお願いいたします。討論はありませんか。

（「なし」の声あり。）

- 委員長（賀茂博美） 討論を終わります。ただいまから採決いたします。第 27 号議案 平成 30 年度裾野市下水道事業会計補正予算（第 3 回）を、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり。）

- 委員長（土屋秀明） ご異議なしと認めます。したがって本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上で、本委員会に付託された議案に係る本日の審査は全て終了いたしました。来る 3 月 4 日の本会議で委員長報告をいたします。審査にご協力賜りましたことに感謝申し上げます。本員会を閉会いたします。

13 時 57 分 閉会

14 時 30 分 開会

○委員長（賀茂博美） ただいまから、予算決算委員会を開会いたします。本日の会議は、先の本会議において本委員会に付託となりました議案についての審査を行います。

なお、付託されました議案は、2月18日開催の当委員会において分科会を設置し、それぞれ審査をいただきました。第1号議案から第9号議案についてを議題といたします。

はじめに、第1号議案 平成31年度裾野市一般会計予算の内の関係部分、第5号議案 平成31年度裾野市土地取得特別会計予算、第7号議案 平成31年度裾野市墓地事業特別会計予算について、総務分科会における審査の報告を求めます。総務分科会委員長。

○総務分科会委員長（中村純也） それでは予算決算委員会総務分科会委員長報告をさせていただきます。過日の本会議において予算決算委員会に付託となりました議案のうち、総務分科会に割り振られた事項について、審査の経過概要をご報告いたします。分科会は去る3月5日から3月7日の3日間、委員7名全員出席のもと開会し、担当部課長等の出席を求めて審査を行いました。詳細な審査内容につきましては、会議録を正確にまとめ、保存いたしますので省略をさせていただき、以下、概要についてご報告申し上げます。はじめに、「第1号議案 平成31年度裾野市一般会計予算」のうちの関係部分についてご報告いたします。

総務部関係では、財政課、税務課、行政経営監、人事課、行政課、検査監を審査しました。

主な内容を報告します。

行政経営監

【質疑】 事業の内製化促進は、どのような視点で指示したのか。また、内製化に伴い発生する職員負担についてどのように考えているか。

【答弁】 内製化の対象としては「計画」に関するものを基本的に考えるように指示している。専門的技術や知識を要するものについては、今のところ外部委託をせざるを得ないと考えている。単にコストだけを見た取り組みではなく、実際に経験することにより理解度が深まるなど、人材育成に繋がられると考えている。工数不足とまらない範囲での取り組みを推奨しており、負担はないと考えている。

人事課

【質疑】各部署において非常勤職員の未雇用期間の発生を聞いているが、募集に対して何かしらの工夫は検討しているか。また同一労働同一賃金への具体的取り組みはあるか。

【答弁】保育士や給食調理など臨時職員の応募状況から、フルタイム勤務に固執せず、様々な働き方のニーズに多様に対応できるパートなど勤務体系を進めており、その情報発信に努めたい。また賃金について他市町と比較し金額的な開きはありませんが、職種によって時間給や月額給の見直しを検討する。

次に、議会事務局、監査委員事務局、出納課の審査の主な内容を報告します。

監査委員事務局

【質疑】工事監査を委託する理由は。また具体的な対象事業は決まっているか。

【答弁】地方自治法に基づき定期監査以外にも必要と認める時はできる財務監査の一環として、主に工事執行状況や契約など事業全般を確認するもので、専門的な知識を必要とするため委託する方法をとっている。対象は建設工事を考えており、都度監査委員と協議し決定する。

出納課

【質疑】資金の運用について新たな取り組みはあるか。また運用に対する考え方は。

【答弁】平成30年度に資金管理および運用基準の見直しを行った。それに基づき安全性、流動性を確保しつつ、効率的な運用を含めて取り組んでいきたい。

企画部関係では、秘書課、企画政策課、戦略広報課を審査しました。

主な内容を報告します。

企画政策課

【質疑】行財政構造改革の一つ、すその一の廃止が市民に伝わっているが、循環型から見直した新路線運行などとの関係など、しっかり説明していく予定はないか。

【答弁】路線の見直しを行ったが、すその一の継続運行のための条件である収益率20%以上を確保するための対応の一つでもある。JR御殿場線との乗り継ぎ時間との調整なども工夫していくこととなるが、利用してもらい収益性を確保することが継続につながることを周知していきたいと考えている。なお、5月の広報すそのに再掲載するほか、時刻表や運行ルートに関するチラシも作成し、PRに努める。

戦略広報課

【質疑】市民協働室が移管されるが、市民協働事業費補助金であるパートナーシップ事業について、これまでと同様に継続していくのか。

【答弁】これまで同様3年を上限に補助する。ただし、現在平成31年4月施行を目標として補助要綱の改定を検討しており、地域活性化のイベントへの支援から地域の課題解決を主な目的として活用してもらえようような制度設計を検討したいと考えている。また補助期間後も自主財源を確保した上で、自主運営が継続できるようサポートしていきたいと考えている。

環境市民部関係では、深良・富岡・須山の3支所、市民課、危機管理課、生活環境課、美化センターを審査しました。

主な内容を報告します。

危機管理課

【質疑】新たに作成するハザードマップの詳細は。また市や地区で実施される防災訓練への活用は考えているか。

【答弁】土砂災害で新たに対象となった警戒区域（イエロー）の34ヶ所、特別警戒区域（レッド）の35ヶ所や、千年に一度と言われる規模の浸水害を想定した地図について、県の公表をもとに作成するもの。1枚もののマップを作成し、全戸に配布する予定である。また新たに対象になった地域を含め、土砂災害警戒区域が指定されている区に対して、避難訓練の実施を促していきたい。

生活環境課

【質疑】新廃棄物処理施設候補地等検討委託の詳細は。

【答弁】美化センターの更新に向けた取り組みにおいて基本構想に挙げられた課題への対応策を検討するものであり、その中の用地に関して、既存用地も含め適地の検討について委託するもの。廃棄物処理関連のコンサルタントへの委託を見込んでいる。

各課の質疑終了後、賛否に関する意見の有無について委員に確認しました。委員から行財政構造改革を理由に、住民ニーズは把握しつつも、これまでの予算枠で可能な範囲でしかルートが見直されないその一の新ルートなど、市民サービスの向上を他所に歳出削減だけを念頭においた予算編成に反対である旨の意見がありました。

以上が第1号議案の審査概要報告であります。

次に「第5号議案 平成31年度裾野市土地取得特別会計予算」では、委員からの質疑や意見はありませんでした。

以上が第5号議案の審査概要報告であります。

次に「第7号議案 平成31年度裾野市墓地事業特別会計予算」についてご報告いたします。

【質疑】 残区画の販売計画はどのようになっているか。また完売後についての計画はあるか。

【答弁】 すでに焼骨をお持ちの方を優先して対応しつつ、後半には完売させたい。また完売後は、造成が済んでいる墓域の整備に向けた準備をしたと考えている。

質疑終了後、賛否に関する意見の有無について委員に確認しましたが、意見はありませんでした。

以上が第7号議案の審査概要報告であります。

以上が、総務分科会に割り振られた事項の審査の経過概要であります。

また、すべての審査終了後、自由討議を行いました。その概要について報告いたします。

【予算審査の日程について】

- ・ 予算を最終的に取りまとめる財政課の審査については、予算全体に関する考えを包括したり、財源調整を行ったりする部署であることから、予算決算委員会審査の初日に実施することが望ましいのではないかと。
- ・ 委員長報告に伴う負担の平準化を図るため、委員会審査の輪番制が必要であるなら、必要に応じて各課の審査に財政課の同席を求めるなど、検討してはどうか。

といった発言がありました。併せて、議員も研鑽に励み、各委員会の審査日数を減らすことや、委員長報告の負担軽減についても併せて行ってはどうかという意見がありました。

【第5次総合計画の施策について】

- ・ 市の重要な計画であり、議決事項であることから、第4次総合計画に対してしっかり評価し、結果を議会にも報告してほしい。
- ・ 計画策定において適宜議会への情報提供を求めたい。

といった発言がありました。

【行財政構造改革について】

- ・ 事業の廃止や減額についてすでに市民に伝わっており、内容はよく承知しておらず、サービス低下を不安に感じている方が多くいる。新聞報道や広報、ホームページなどに掲載して終わりではなく、もっと丁寧に説明していく必要があるのではないかと。また、減額や廃止となる事業の理由をしっかりと整理して、改革の意図を分かりやすくした上で周知する必要がある。
- ・ 狙いなど情報が分かりやすく整理された場合、議会も議会報告会や議員個人のつながりの中で情報展開などできることをしてはどうか。

といった発言がありました。

以上が自由討議の内容です。

審査にご協力賜りました皆様へ感謝を申し上げ、総務分科会委員長報告といたします。

○委員長（賀茂博美） 総務分科会委員長の報告は終わりました。次に、第1号議案 平成31年度裾野市一般会計予算の内の関係部分、第2号議案 平成31年度裾野市国民健康保険特別会計予算、第3号議案 平成31年度裾野市後期高齢者医療事業特別会計予算、第4号議案 平成31年度裾野市介護保険特別会計予算について、厚生文教分科会における審査の報告を求めます。厚生文教分科会委員長。

○厚生文教分科会委員長（杉山茂規） 予算決算委員会厚生文教分科会委員長報告をいたします。過日の本会議において、予算決算委員会に付託となりました議案のうち、厚生文教分科会に割り振られた事項について、審査の経過概要をご報告いたします。分科会は去る3月8日、11日、12日、委員6名全員出席のもと開会し、担当部課長等の出席を求めて、慎重な審査を行いました。詳細な審査ないようにつきましても、会議録を正確にまとめ保存いたしますので省略をさせていただき、以下概要についてご報告申し上げます。

「第1号議案 平成31年度裾野市一般会計予算」のうちの関係部分についてご報告いたします。

教育部関係では、鈴木図書館、生涯学習課、教育総務課、学校給食センター、学校教育課を審査しました。

鈴木図書館では、

【質疑】900万円で購入予定の図書はどのように選び購入するか。また、雑誌スポンサー制度において次年度の見込みや取り組みは。

【答弁】予算を一般書、児童書、ほかの分野などと分野別に割り振り、分野ごとの担当が選書して選書会議にかけ、年数回にわけ段階的に購入を行う。図書のリクエストにも対応する。スポンサー制度は、現在4社に5誌を提供してもらっているため、引き続き協力してもらえるように取り組むだけでなく、新規にアプローチを続けて増やせるように取り組んでいく。

教育総務課では、

【質疑】西中学校の普通教室の調査設計業務委託について、平成33年度には教室不足になる見込みだが、次年度はどのように進めて行くか。また、当初の予定通りに間に合うのか。

【答弁】市内企業の移転に伴う生徒数の変動がどのようになるかわからない。1人2人でクラス数の変動がおこるため、ぎりぎりまで見極めを行いたい。スケジュールとしては、平成33年度には間に合うように進めて

行く。

学校教育課では、

【質疑】教員の多忙化解消のための取り組みで、新年度取り組む内容は。また、外部人材の活用はどうか。

【答弁】他市に先駆け学校共同事務室の試行的な取り組みを実施し、事務職員が担任や学校運営に対する支援が出来るようにしている。また、部活動ガイドラインを定め、部活動の運営に関して負担軽減に繋がるような適正化を行った。また、外部人材の活用は、部活動において顧問の負担軽減につながるため、技術的な指導を補えるような地域人材に、外部指導者として部活動の指導補助をしてもらっている。

次に、健康福祉部では、健康推進課、介護保険課、国保年金課、保育課、子育て支援課、社会福祉課、障がい福祉課を審査しました。

子育て支援課では、

【質疑】地域における子育て支援体制強化事業で配置する子育て相談支援員の詳細は。また、連携については。

【答弁】6人の支援員を配置する予定で、健康推進課で実施の母子関係の相談事業や子育てイベント時に、協力いただける数だけお願いする形をとる。また、受けた相談については、保健師や家庭児童相談室に連絡をするなど連携して必要な支援を行っていく。

保育課では、

【質疑】第2期子ども・子育て支援事業計画策定委託の詳細は。また、保育園や幼稚園の無償化に関する内容も含まれるのか。

【答弁】法定の計画で、ニーズを把握したうえで、保育を受け入れる側の体制確保のための計画を作成するもの。来年度に策定を行い平成32年から5年間の計画となる。無償化による影響については課題となっているため、何らかの形で取り組むことが出来たら良いと考えている。

社会福祉課では、

【質疑】高齢者医療費助成制度を廃止するに至った理由は。また、市民への説明や反応はどうであったか。

【答弁】過去の事業評価で廃止の方向が出ていた点と、後期高齢者医療制度が開始され10年が経過し、医療費負担増の緩和をする目的は達成されたとの判断で廃止とした。

市民へ理解の点では、廃止の方向性が決まってから、申請に来られた方々にご案内した。

質疑終了後、賛否に関する意見の有無について委員に確認しました。

委員から事業見直しの中で、余りにも多くの社会福祉予算が削られている事に

ついて反対の意見がありました、

以上が第1号議案のうちの関係部分の審査概要報告であります。

「第2号議案 平成31年度裾野市国民健康保険特別会計予算」についてご報告いたします。

【質疑】国民健康保険の近年における被保険者数の減少傾向はどうか。また、それは市の人口減少との関係性はあるか。

【答弁】異動は、転入や転出、社会保険に加入するなどによるものが多い。一番は、75歳になり後期高齢者医療制度へ自動的に移ることによるものあり、被保険者数は減少傾向となっている。人口減少による影響は多少ながらあると考える。

質疑終了後、賛否に関する意見の有無について委員に確認しましたが、意見はありませんでした。

以上が第2号議案の審査概要報告であります。

「第3号議案 平成31年度裾野市後期高齢者医療事業特別会計予算」についてご報告いたします。

【質疑】被保険者数が国保では減少し、後期高齢者医療制度では増加しているとのことだが、どの程度になることを見込んでいるか。また、今後の増加には対応できるか。

【答弁】平成30年4月1日現在の被保険者数6,157名をベースとして、平成31年度予算では約6,400人を見込んでおり今後も増加していく。年度中の変動には必要に応じて補正予算等で対応する。

質疑終了後、賛否に関する意見の有無について委員に確認しましたが、意見はありませんでした。

以上が第3号議案の審査概要報告であります。

「第4号議案 平成31年度裾野市介護保険特別会計予算」についてご報告いたします。

【質疑】介護度認定審査会の負担金の算出根拠は。また他と比較して介護給付費の特徴はあるか。

【答弁】負担金は当初見込み件数で拠出し、次年度実績に応じて清算をしている。給付費の特徴としては、県の平均と比べ、訪問系のサービス利用は少なく、通所系のサービス利用が多い。単独世帯が県平均より少ないことが反映している。同居世帯でうまくサービスを利用していると考えている。

質疑終了後、賛否に関する意見の有無について委員に確認しましたが、意見はありませんでした。

以上が第4号議案の審査概要報告であります。

以上が、厚生文教分科会に割り振られた事項の審査の経過概要であります。
また、すべての審査終了後、自由討議を行いました。その概要について報告いたします。

【行財政構造改革の取り組みに関して】

- ・ 財政調整基金を取り崩しての市政運営に対し、過去に多くの議員から行財政構造改革を早期に行うことについての発言があった。今回の取り組みそのものは異論がなく、もっと早く取り組むべきであった。
- ・ 厚生文教分科会が所管する部署での事業見直しは、全体の4割を超えており大きなボリュームになっている。そのジャンルは市民に身近な福祉分野や医療分野であり、対象者に対し、当局は理解を十分に得るような説明や広報活動をしっかり行う必要がある。
- ・ 直接的影響を受けるサービスに対しては、予算を伴わない、あるいは、低予算であっても福祉向上に繋がるようなサービス補充をしっかりと行う必要がある。

といった発言がありました。

以上が自由討議の概要です。

また、自由討議において上記発言により以下について当局に対し強く求めることを確認しました。

- 1、行財政構造改革によって影響を受ける市民に対しては、丁寧な説明と、広く広報活動を行い十分な理解を得る事。
- 2、影響を受ける分野に関しては、予算を伴わない、あるいは低予算であっても実施できるような福祉向上に繋がるサービスを検討し行う事。

以上2点、当局は真摯に対応する事を求めます。

審査にご協力いただきました皆様に感謝を申し上げまして、厚生文教分科会委員長報告といたします。

○委員長（賀茂博美） 厚生文教分科会委員長の報告は終わりました。次に、第1号議案 平成31年度裾野市一般会計予算の内の関係部分、第6号議案 平成31年度裾野市十里木高原簡易水道特別会計予算、第8号議案 平成31年度裾野市水道事業会計予算、第9号議案 平成31年度裾野市下水道事業会計予算について、産業建設分科会における審査の報告を求めます。産業建設分科会委員長。

○産業建設分科会委員長（井出悟）

予算決算委員会産業建設分科会委員長報告をいたします。過日の本会議において、予算決算委員会に付託となりました議案のうち、産業建設分科会に割り

振られた事項について、審査の経過概要をご報告いたします。

分科会は去る2月25日、26日、3月1日に委員6名全員出席のもとに開催し、担当部課長等の出席を求めて、慎重な審議を行いました。

詳細な審査内容につきましては、会議録を正確にまとめ、保存いたしますので省略をさせていただき、以下概要についてご報告申し上げます。

はじめに、「第1号議案 平成31年度 裾野市一般会計予算」のうちの関係部分について報告いたします。

建設部関係では、建設管理課、建設課、まちづくり課、区画整理課の審査を行いました。

主な審査内容を報告します。

建設管理課で

【質疑】 橋梁長寿命化修繕計画再策定委託の具体的な内容は。

【答弁】 5年点検の1サイクル目が完了し、橋の近況の状況が点検によって明確にあらわれている。点検結果をもとに長寿命化修繕計画の見直しを行い、予防保全、早期措置の橋梁について、計画的な補修により橋の延命ができるように計画の再策定を行う。

建設課で

【質疑】 通学路整備事業費は、今回の行財政構造改革の中で600万円の削減ということで提示されている。数年前に予算額が増額になったが、今回100万円の予算で整備要望に対し対応できるのか。

【答弁】 認定外道路は、赤道など非常に狭小な道路が多く、現段階では最小限の予算計上をしている。認定道路は、社会資本整備交付金、補助金を積極的に活用し、整備要望に対応していく。

まちづくり課で

【質疑】 深良まちづくり支援事業委託の内容は。

【答弁】 平成30年度にワークショップでゾーニングを行っており、それを深化させ、最終的にランドデザイン案の検討まで深掘りをしたいと考えている。

などの質疑・答弁がありました。

産業部関係では、農林振興課、演習場対策室、産業振興課の審査を行いました。

主な審査内容を報告します。

農林振興課で

【質疑】 有害鳥獣捕獲従事者育成支援事業の目的は、鳥獣被害対策の主体である猟友会の高齢化の進展による担い手確保対策とのことで、補助金の対象者に猟友会の加入と、3年以上の活動継続を求めている。鳥獣被

害対策の人材育成であるならば、農業従事者などの罨取得などの場合などについては、猟友会加入の必須という要件については柔軟的に考えたほうが良いのではないか。

【答弁】有害鳥獣捕獲従事者育成支援事業は、猟友会の担い手確保を目的とした制度であることから、罨であっても猟友会に入らせていただくという形でお願いしたい。

産業振興課で

【質疑】ユニバーサルデザインタクシーの導入補助金で、1台当たり60万円とした根拠は。

【答弁】ユニバーサルデザインタクシーは、高齢者、車椅子利用車、ベビーカー利用者、妊娠中の方など全ての方にとって使いやすい、利用しやすいタクシーを市内に普及させるということが必要との認識のもと、市内企業への支援及びオリンピックの自転車の競技の会場になることも踏まえ、外国人も含めて利用しやすいユニバーサルデザインタクシーの普及が必要と考えている。事業者が国から受ける補助金と、市の補助金を合わせると、従来型のセダン型タクシーと同額になる様に設定した。

などの質疑・答弁がありました。

環境市民部関係では、上下水道経営課、上下水道工務課の審査を行いました。主な審査内容を報告します。

上下水道経営課、上下水道工務課では質疑はありませんでした。

質疑終了後、委員に意見の有無を確認したところ、賛否に関する明確な意思表示はありませんでしたが、ユニバーサルデザインタクシーの導入補助金、下水道特別会計への繰り出しについて意見がありました。

次に、「第6号議案 平成31年度裾野市十里木高原簡易水道特別会計予算」について報告いたします。

主な審査内容を報告します。

【質疑】管路更新事業が1,200万円の事業による、有収率向上の見込みは。

【答弁】平成30年度に漏水調査を全域で行い、31カ所の漏水箇所が判明している。平成30年度においても順次対策している。具体的な効果は算出できていないが、効果を期待している。

などの質疑・答弁がありました。

質疑終了後、賛否に関する意見の有無について委員に確認しましたが、意見はありませんでした。

以上が第6号議案の審査概要であります。

次に、「第8号議案 平成31年度裾野市水道事業会計予算」について報告い

たします。

主な審査内容を報告します。

【質疑】平成 31 年度は水道事業審議会の開催が予定されているということだが、水道料金の見直しも考えるということか。

【答弁】水道料金を上げることが前提ではなく、どのようにしたら水道事業が維持していけるかという検証を行う。

【質疑】給水停止を行うにあたって、生活困窮者自立支援の窓口ができたときから市内の横連携という話がずっと出ているが、支援や相談につながっているか。

【答弁】現時点ではそのようなケースの報告はないが、もし事業者から話があれば対応していきたいと考えている。

などの質疑・答弁がありました。

質疑終了後、賛否に関する意見の有無について委員に確認しましたが、意見はありませんでした。

次に、「第 9 号議案 平成 31 年度裾野市下水道事業会計予算」について報告いたします。

主な審査内容を報告します。

【質疑】下水道への未接続世帯数と、その対応は。

【答弁】未接続世帯は約 500 世帯あるが、主に水窪と伊豆島田地区に多く、流下方式の変更により長泉町との協議に時間を要した時期に、新築が進んだことによる。各戸訪問にて接続していただけるようお願いに上がっている。

などの質疑・答弁がありました。

質疑終了後、賛否に関する意見の有無について委員に確認したところ、一般会計からの繰り入れの多さに対し、反対の意見がありました。

以上が、産業建設分科会に割り振られた事項の審査の経過概要であります。

また、すべての審査終了後、自由討議を行いました。その概要について報告いたします。

【ユニバーサルデザインタクシー導入補助金について】

・行財政構造改革を推し進める中で、多くの市民サービスを見直している。その様な中、事業者に対して補助制度を設けることに対し、市民への提案理由の説明に疑問を感じる。また、ユニバーサルデザインタクシーがロビーでお披露目されたのは去年の事。そのタイミングでやらずになぜ今なのか、また既に市内事業者が購入をして走行している中での施策展開に対し疑問を感じる。

・ユニバーサルデザインタクシーを普及させるのであれば、障がい福祉の観点、

子育て支援の観点など多角的に効果を追求すべきであるが、多角的な検討結果であるという事が明確になっておらず、疑問を感じる。

・タクシー利用の促進に重きを置き、利用が高まった結果の事業者の利益を活用いただいてユニバーサルデザインタクシーを整備して頂くという視点であれば、市民、事業者ともにメリットがあると言える。趣旨、目的の説明が不十分である。

という様な発言がありました。

【3世代同居支援補助金について】

・これまでの住宅建設等促進事業補助金も、継続して利用者が計上されており、定住移住を推し進める上でも重要な施策である。その様な中、3世代同居支援補助金だけに集中することで、住宅建設等促進事業補助金により獲得できていた定住希望者を取り逃がすにもなりかねない。定住移住を増やすなどの効果についての幅広い議論が不十分ではないか。

という様な発言がありました。

【行財政構造改革の実行における市民への説明について】

・事業を行う、事業をやめる、共に同じだけの説明責任が執行部にはある。やめるのであれば、議会に対しても、もっと丁寧に説明すべきである。

という様な発言がありました。

【効率的審査に向けた情報の充実について】

・毎回予算審査後の自由討議で話が出るが、積み上げの情報があると、例えば委員報酬、委員の詳細、負担金補助金交付金の詳細など、細かく質疑しなくても政策の中身の審査が充実できる。

という様な発言がありました。

以上が自由討議の内容です。

また自由討議を通じ、予算決算委員会で議論の俎上に上げて頂きたい内容について、産業建設分科会として意見をまとめましたのでご報告いたします。

行財政構造改革の取り組み1年目である平成31年度当初予算では、2億9,050万6千円の事業見直しを実施し、以降、さらに3億6千万円の事業見直しの取り組みも必要である事も示されている。行財政構造改革の取り組みにあたっては、裾野市も「市民サービスに影響をきたす恐れがあるが、市を存続させる為には段階的な縮小・停止・廃止も必要」との改革の断行に向けた基本的考え方を示している。

市長は「裾野市の持続的発展のため、全職員で知恵を出し合い頑張ります！」との意気込みを示している。これは行財政構造改革の取り組みを行いながらも、政策の高度な複合化などにより、より質の高い市民サービスの実現を全庁挙げて目指すことを示しており、実現の為には担当部局による単一的な視点でなく、

全庁的に横串をさして、一つの事業で複数の成果を最大限実現する取り組みが重要となる。

しかし、産業建設分科会における予算審査にあたっては、施策の説明に対し自部署最適の意識を強く感じ、全庁横断的に施策効果を最大限獲得するという視点が乏しかったとの指摘があった。

よって、行財政構造改革の取り組みの初年度である平成 31 年度当初予算においては、全庁挙げた取り組みについては、まだまだ改善の余地があり、現在の状態では行財政構造改革に対し市民の理解を得ることは到底困難と言わざるを得ない。

産業建設分科会としては、裾野市においては平成 31 年度当初予算の執行にあたり、指摘を真摯に受け止めて、行財政構造改革に対しては市民の理解が十分に得られるよう丁寧な説明を、施策の実施に対しては真の効果最大化に向け、本気で全庁的に取り組んで頂く事を決議として、予算決算委員会報告に付帯して頂く様要望する。

審査にご協力賜りました皆様へ感謝を申し上げ、産業建設分科会委員長報告といたします。

○委員長（賀茂博美） 産業建設分科会委員長の報告は終わりました。これより本 9 議案について、分科会委員長の報告に関する質疑、討論、採決を行います。

はじめに、第 1 号議案 平成 31 年度裾野市一般会計予算について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」の声あり。）

○委員長（賀茂博美） 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては、討論の詳細については本会議でお願いいたします。討論はありませんか。

○委員長（賀茂博美） 16 番、岡本和枝委員。

○委員（岡本和枝） 今回の予算編成に対して色々な問題点等予算審査の中で出てきたことがあるんですが、それらを総合してこの予算に対して反対の意見を表明します。

○委員長（賀茂博美） 他に討論はありませんか。

（「なし」の声あり。）

○委員長（賀茂博美） 討論を終わります。暫時休憩させていただきます。

○委員長（賀茂博美） 再開いたします。ただいまから起立により採決いたします。第 1 号議案 平成 31 年度裾野市一般会計予算を、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者の起立)

- 委員長（賀茂博美） 起立多数と認めます。したがって本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。次に第2号議案 平成31年度裾野市国民健康保険特別会計予算について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」の声あり。）

- 委員長（賀茂博美） 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては討論の詳細については本会議でお願いいたします。討論はありませんか。

（「なし」の声あり。）

- 委員長（賀茂博美） 討論を終わります。ただいまから採決いたします。第2号議案平成31年度 裾野市国民健康保険特別会計予算を原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり。）

- 委員長（賀茂博美） ご異議なしと認めます。したがって本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。次に、第3号議案 平成31年度裾野市後期高齢者医療事業特別会計予算について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」の声あり。）

- 委員長（賀茂博美） 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては、討論の詳細については本会議でお願いいたします。討論はありませんか。

（「なし」の声あり。）

- 委員長（賀茂博美） 討論を終わります。ただいまから採決いたします。第3号議案 平成31年度裾野市後期高齢者医療事業特別会計予算を、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり。）

- 委員長（賀茂博美） ご異議なしと認めます。したがって本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。次に、第4号議案 平成31年度裾野市介護保険特別会計予算について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」の声あり。）

- 委員長（賀茂博美） 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては、討論の詳細については本会議でお願いいたします。討論はありませんか。

（「なし」の声あり。）

- 委員長（賀茂博美） 討論を終わります。ただいまから、採決いたします。
第4号議案 平成31年度裾野市介護保険特別会計予算を原案のとおり決定することにご異議ありませんか。
（「異議なし」の声あり。）
- 委員長（賀茂博美） したがって本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。次に、第5号議案 平成31年度裾野市土地取得特別会計予算について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。
（「なし」の声あり。）
- 委員長（賀茂博美） 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては、討論の詳細については本会議でお願いいたします。討論はありますか。
（「なし」の声あり。）
- 委員長（賀茂博美） 討論を終わります。ただいまから採決いたします。第5号議案 平成31年度裾野市土地取得特別会計予算を、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。
（「異議なし」の声あり。）
- 委員長（賀茂博美） ご異議なしと認めます。したがって本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。
次に、第6号議案 平成31年度裾野市十里木高原簡易水道特別会計予算について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。
（「なし」の声あり。）
- 委員長（賀茂博美） 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては、討論の詳細については本会議でお願いいたします。討論はありますか。
（「なし」の声あり。）
- 委員長（賀茂博美） 討論を終わります。ただいまから採決いたします。第6号議案 平成31年度裾野市十里木高原簡易水道特別会計予算を、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。
（「異議なし」の声あり。）
- 委員長（賀茂博美） ご異議なしと認めます。したがって本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。
次に、第7号議案 平成31年度裾野市墓地事業特別会計予算について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。
（「なし」の声あり。）
- 委員長（賀茂博美） 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては、討論の詳細については本会議でお願い

いたします。討論はありませんか。

(「なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) 討論を終わります。ただいまから採決いたします。第7号議案 平成31年度裾野市墓地事業特別会計予算を、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) ご異議なしと認めます。したがって本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、第8号議案 平成31年度裾野市水道事業会計予算について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては、討論の詳細については本会議でお願いいたします。討論はありませんか。

(「なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) 討論を終わります。ただいまから採決いたします。第8号議案 平成31年度裾野市水道事業会計予算を、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) ご異議なしと認めます。したがって本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、第9号議案 平成31年度裾野市下水道事業会計予算について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては、討論の詳細については本会議でお願いいたします。討論はありませんか。17番、小林委員。

- 委員(小林俊) 下水道会計はですね、大赤字が続いていてそれを改善するという、平成26年度に出ている国交省の10年概成という考え方をまったく活かしていない。会計の改善の計画を持っていないということに対して私は反対をいたします。

- 委員長(賀茂博美) 他に討論はありませんか。6番、村田委員。

- 委員(村田悠) 内容につきましては本会議でやりますけれども、反対をやりません。

- 委員長(賀茂博美) 他に討論はありませんか。

(「なし」の声あり。)

○委員長（賀茂博美） 討論を終わります。ただいまから、起立により採決いたします。第9号議案平成31年度裾野市下水道事業会計予算を原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者 起立）

○委員長（賀茂博美） 起立多数と認めます。したがって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上で、本委員会に付託されました議案に係る本日の審査はすべて終了いたしました。来る3月22日の本会議で、委員長報告をいたします。審査にご協力賜りましたことに感謝申し上げまして本委員会を閉会いたします。

15時14分 閉会